

達古武地域における森林再生 ベースマップの作成と保全・再生優先度の検討 (9/10)

5 - 4 . 保全・再生優先対象地の抽出 - まとめ -

- 5 - 1 ~ 5 - 3までの3つの視点で抽出した保全・再生優先対象地域をまとめて図示した。
- 今後は、このデータに、他の知見や現地踏査結果を反映させて、抽出モデルを改善していくことで、よりよいマップを作成することが出来る。

植生・森林データの修正

抽出条件の修正・追加

- このマップは、自然条件をもとに作成したが、これに社会条件による実施可能性の面からの分析を加えていくことで、保全・再生の現実的プログラムを作成していく必要がある。各地区の地域社会における役割や歴史的背景をふまえてプログラムづくりを進めることになる。

● 達古武地域における保全・再生の優先対象地

● 塘路64の幼齢造林地・ササ地



● 達古武沼北部の壮齢カラマツ林



● 国道東部の伐採跡地



● 達古武24のササ地



● 東部の伐採跡地



- | | |
|--|-------------------------|
| | 良好な自然林・二次林 |
| | 湿原生態系の維持向上の視点で重視される非自然林 |
| | 土砂流出防止の視点で重視される貧植生地 |
| | 上記2つの複合地 |

(注) 写真は自然条件から抽出された自然林再生の優先度の高い場所の例